

ヤマトグループ賛助会員向け
ニュース(季刊)
発行部数14万部・非売品

2021.10.20 autumn

No.
72



巻頭企画 人は自立して生活することで幸せを感じられる

2021年度障がい者の働く場 パワーアップフォーラム



深い思いよりも
軽い気持ちで
爽やかに歩む

Profile

2008年2月、NPO法人ピアファームを設立。2009年7月、「ピアファーム夢の果実農産物直売所」開設。2011年9月、あわら市より北陸農政局管内でNPOでは初の認定農業者として承認される。2014年8月、「産直市場ピアファーム」開店。2015年7月、観光ぶどう園「あわらベルジェ」オープン。2015年12月：第16回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞。2017年農林水産省ディスカバー農山漁村(むら)の宝第4回選定。2020年11月～ヤマト福祉財団農福連携実践塾講師

いつも思うのですが、「ここまでの農地を広げ、ぶどうハウスや農園でのレストハウスを整備してきたのは大変でしたね。そんな苦勞を聞かせください」と時々言われることがありますが。大変な気持ちでやってきたことはまったくありません。好きなことを思いつきやれることの楽しさ、私の思い描いていた農業で障がいがある人たちと一緒に働くことを実現できる楽しさを思いつき感じています。

創める時も、「こうあったらいいな。こんなこともしたいな。」と障がいの者への工賃向上のための農業はどうあるべきか描いてきました。人に相談すると「そんなの無理、障がいの者がどこまでできるの?」と言われることが殆どでした。でも夢だけは広がり、この耕作放棄地を使ってアスパラガスをつくりたい。ここは玉ねぎ、この梨園はJAに出荷すればいいな。ぶどうをやりたいと言った時、皆眼を丸くしたようで、この人は何を考えているのかと思われていたようでした。

軽い気持ちで始めた就労継続B型で農業に特化した経営体は、私は責任者だからできたのかもしれない。なぜなら、前職では反対されることもあったから。就労継続B型事業と農業は相性がいいと思います。その相性は自身で引き付けるものです。こうしたい、あつしたいと想いは広がっていきます。そんな想いを持ってこの事業に感謝しています。

農業・果樹栽培は栽培技術も大切で、技術いかに収穫が伸び、収益向上していきますのでやっただけで成果が出てくるので、凄く楽しみです。また、メンバー(利用者)のコンビネーションや作業工程を変化させていくと面白いように作業ができるようになっていくのも楽しいものです。

25年前から農業に取り組み、初めは稲作からで今があります。農業、栽培のノウハウ、就労支援のイロハなどが組み合せて、今のハーモニーができたと思っています。大地を耕し、草を刈り、定植した苗木と共に育ち、肩の力を抜いて、楽しく、一緒に汗を流すことに誇りと感謝をしています。

さあ!! 肩の力を抜いて、軽い気持ちで爽やかに!!

※障がいの表記について：本コラムは著者の表記を尊重しています

CONTENTS

表紙写真

本誌掲載の2021年度パワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団助成金贈呈式、農福連携実践塾で構成しました

03 人は自立して生活することで幸せを感じられる
2021年度障がいの者の働く場
パワーアップフォーラム

10 2021年度ヤマト福祉財団助成金
全国で助成金の贈呈式を行いました

08 新型コロナウイルス感染症対応
臨時助成金
35施設に助成を行いました

12 利用者支援と仕事づくりを農業で実践——
塾長たちと現地視察を行いました



日本障害フォーラムが推進するイエローリボン運動に賛同しています。

2021年度

障がい者の働く場の パワーアップフォーラム

テーマ…人は自立して生活することで幸せを感じられる



大阪編は、千代田区の元中学校をリノベーションしたイベントスペース 3331 Arts Chiyodaから配信しました。



東京編の会場は、TKPガーデンシティPREMIUM品川です。



(NPO) 日本障害者協議会 藤井代表
コロナ禍の逆風の中、SDGsの追い風が吹いています



山内理事長
守るのではなく攻める姿勢。失敗してもあきらめないことです

コロナ禍だからこそ、挑戦する勇氣を持つ

「未だ終息が見えないコロナ禍ですが、より多くの福祉施設に利用者さんの働く場の拡大と給料増額の新たなヒントを得てほしい」。そんな願いを込めて、本年度のパワーアップフォーラムは、9月10日に大阪会場編を、10月1日に東京会場編をオンラインセミナーで開催。両会場で約460名の方に参加いただきました。

「障がいのある方が生き生きと働き、社会参加できる世の中にしていきたいために、私たちに何ができるか。今日は一緒に学んでいきましょう」。開会挨拶で山内理事長はそう切り出しました。

その参考の一つにと、クロネコヤマトの「満足創造経営」を講演。「宅急便は、荷物とともに『送る方の思い』を大切にお届けしています。そこで気づいたのは、『受け取る方により喜ばれるサービス』の必要性でした。

お客さまからの苦情やクレームにこそ改善のヒントが隠されています。そんな宝物とも言える情報を全職員と共有し、お客さまがもっと満足できる商品やサービスの開発に役立ててください」と伝えました。

(NPO) 日本障害者協議会の藤井克徳代表は時流講座で、障がいのある方と福祉施設を取り巻く環境、制度、就労などの動向を解説しました。

「現在、民間企業の法定雇用率は

22%ですが、完全に達成はできていません。また、福祉施設もコロナ禍で約6割が厳しい経営状況にあります。それでも、働きたいと願う障がいのある方の声を置き去りにはできません。模倣は創造の第一歩。まずは講演者たちの取り組みから自分たちに見つけることを見つけ出し、挑戦をはじめましょう」と呼びかけました。

講演・実践報告者は、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者をはじめ、さまざまな事業・支援を進める施設がオンラインで発信。大阪会場編では「高工賃」、東京会場編では「高付加価値」のサブテーマに沿い、それぞれの取り組みや成果などを発表しました。

シンポジウムでは、コーディネータの藤井氏が、講演者たちの施設の利用者さんたちは、仕事を通してどのように成長しているか、それをどう支援しているかなどを質問しました。生き生きと夢を語る利用者さんたちの姿は、ビデオでも紹介されています。

9月10日 大阪 会場編

高賃金を目指して

▶ オンライン会場:3331 Arts Chiyoda



ペットフードの協業でコロナ禍を越える



(社福)慶光会 理事長
(有)ドアーズ 代表取締役
第12回ヤマト福祉財団
小倉昌男賞受賞

柴田 智宏 氏

コロナ禍だからこそ、 挑戦する勇気を持つ

(有)ドアーズは、ペットフードの製造・卸売を行う会社です。鳥取県に製造工場を、岡山県と兵庫県に物流センターを置き、それぞれの職場で障がいのある方、シングルマザー、定年退職した方などが、自分に適した仕事と働き方を選び、活躍しています。

私も、かつてはみなさんと同じ福祉施設の職員として、利用者さんの給料増額を目指し、もがき苦しんだ時代がありました。そんなとき、パワーアップフォーラムに参加し「目標に向かって進みはじめたら、できない言い訳はしない。どうしたら達成できるのかを考え、取り組むこと」。そして「いつ、だが、どういことを行うかを明確にし、職員みなで共有して取り組むことが大事」と学んだのです。

この教えをもとに製麺事業を開始し、これまで利用者さんに1万円

しか払えなかった給料を月額平均5万円にしました。しかし、ある利用者さんに「施設で10万円もらうより、もっと安くいいから企業で働きたい」と告げられ、ショックを受けました。「職場も仕事も選択できることが、利用者さんの本当の幸せにつながる」。そう教えられ、起業の道を選んだのです。

同じ方向を向き可能性が 広げ合う関係が「協業」

私は、障がいのある方だけでなく、すべての就労に困窮する人たちが受け入れることを、目指しています。その想いに共感する企業、福祉施設と、「協業」しています。

「協業」は、双方にメリットのある関係でなければ成立しません。互いの考え、意見、要望、事情を、腹を割って話し合い、プラスの提案ができる関係が「協業」です。それには互いの方向性に相違がないか、意識決定スピードが違い過ぎないか。そして一緒に仕事をして楽しく感じる

かが大事だと思います。

いまドアーズは、いくつかの福祉施設と協業しています。このフォーラムで私の講演を聞いた長野の施設が、翌週には見学に来られました。その熱意に動かされ、私も長野に出向き、状況を視察。いまどんな事業を行っているのか、どんな利用者さんがいるのか、どういった環境なのか。私は、地域特性を生かし、害獣とされる鹿の肉を使ったペットフードの協業を提案しました。最初は、うちにあった製造機械をレンタルし、使い方や製造方法などのノウハウを指導。それがいまでは、施設が自ら機械を購入し、ペットフードメーカーと直接取引を展開できるまでになっています。

ドアーズの社名には「すべての人の可能性を開くためのドア」という想いを込めています。コロナ禍でも「利用者さんのために新たな未来を拓きたい」そんな方たちとぜひ協業したいですね。



協業する長野の施設。他にも全国の施設と協業しています

大阪会場編 シンポジウムより

「10億円の売上目標を達成した。次は新たな事業を興し、成功させたい」と柴田さん。「コロナ禍で大変だと嘆くのではなく、この機会に職員も利用者さんもレベルアップを」と奥西さん。いまこそ前向きなチャレンジが必要と、視聴者に呼びかけています。



高工賃を目指して

―施設外就労M・I・Eモデル―

障害のある人の多様な働き方とライフデザインを描く



(社福)維雅幸育会
統括管理者
第21回ヤマト福祉財団
小倉昌男賞受賞

奥西 利江氏

利用者さんと職員で
ユニットを組み施設外就労

1988年に小規模の作業所からスタートした私たちが、最初に出せた給料は、8000円でした。それを手にしたある利用者さんに「僕は一人暮らしをして結婚したい。その夢を奥西さんが応援してくれるんでしょ?」と言われたのです。利用者さん一人ひとりが人生を楽しみ生きるためには、高い給料が必要ですが、このままではとても実現できません。

三重県伊賀市には、さまざまな大手企業が工場を展開しています。私たちは、各社を回り、施設外就労をお願いしました。そこで出会った方が、化粧品を製造する(株)ミルボンで担当係長を務められていた現・取締役生産部長の村田輝夫さんです。村田さんには、特例子会社にしていただけないかと、他の事例の

見学に同行いただきました。しかし、そこで見たのは、障がい者に本業は無理だと雑用ばかりさせている現実だったのです。村田さんは「奥西さんはこれで良いの?うちのラインには、利用者さんにできる仕事がないとある。一般社員と一緒に働きたい。最初は簡単なことから始めて、段々といろんな仕事ができるように覚えていってほしい」と応援いただけたのです。

そこで、5〜6人の利用者さんに1人の職員というユニットを組み、施設外就労を開始。最初は、失敗して泣いて帰ってくることもありましたが、それでも厳しく温かく指導いただくことで、いろいろな仕事ができるようになり、いまでは5本以上のラインを、私たちに任せていただいています。さらに日々の仕事ぶりを評価いただき、正社員にステップアップした者もたくさんいます。そんな姿を見た他の会社からもお声

がかかり、現在では5社で施設外就労を展開中です。

高工賃と働く選択肢を生む
インクルーシブなモデルに

施設外就労の良い点は、収益の約90%を給料にできることです。現在A型で13万円、B型でも多い方は10万円以上の給料を支給できています。さらに、いま力を入れているのは、一般就労の方が定年退職したあとのケアです。退職後は、私たちの施設に戻り、製菓・製パン事業などゆつたり仕事ができる。そんなライフデザインも描けるようになりました。

こうした私たちの施設外就労のあり方を、障がいのある方が多様な働き方と生き方を選択できるインクルーシブな事例「M・I・Eモデル」として全国に発信中です。それに共感いただける全国の施設や企業とネットワークを作り、1人ではできないことも、みんなで力を合わせて実現できたらと考えています。



工場内の1本のラインをそのまま利用者さんたちが担当

実践報告1

あきらめない攻めの姿勢でより高い給料を

(NPO)バイタルフレンド
マザーワート理事長
報告者：横石 たまき氏



夢へのかけ橋実践塾に入塾時の利用者さんの月給は1万円以下。「3万円にするには売上の30%を利益に」と教えられました。あきらめず実力のあるパン職人を雇用し、ヤマトさんの助成金で生産量を増やす機械も導入。さらに洋食レストランもオープンし、入塾から8年かけて3万2000円を超えることができました。この攻めの姿勢で、コロナ禍に求められるサービスも充実し、さらに上を目指します。

実践報告2

人手の多い福祉施設の強みを活かして売上向上

(社福)有田つくし福祉会
早月農園 支援員
報告者：大辻 幸氏



現在みかん畑は3.5ha、他にも山椒や梅などこの土地の特産品を生産し、月給3万円を超えています。しかし最初は失敗ばかり。そこで地元農家を「農業専門支援員」として雇用し、農地管理の方法などを学びました。また、周辺農家はみかんの袋詰めまでは手が回らないと知り、「高い単価で多種類の袋詰め」を求める取引先を開拓。人手の多い福祉の強みを活かし、売上を増やしました。さらに規格外品のジャム、ジュースの加工などにも取り組んでいます。

10月1日 東京 会場編

高付加価値を目指して

▶ オンライン会場:TKPガーデンシティPREMIUM品川



農業を面白く・楽しく



(一社)農福連携
自然栽培パーティ
全国協議会 理事長
(社福)無門福祉会
事務局長

磯部 竜太 氏

自然栽培なら農業の素人も 高付加価値の作物を作れる

愛知県豊田市の(社福)無門福祉会では、12名の利用者さんが土や自然とふれあひながら、お米や野菜を栽培しています。現在の月額平均給料は3万6,260円ですが、農業をはじめた2014年は、わずか10m四方の小さな畑で、年間売上はたったの5万円。どの職員も農業の素人で、なにをどうやって栽培するのか、利用者さんにどんな仕事を任せて良いのか、採れた野菜の販売方法もわからない。地域の農家さんのおつきあいもうまくいかず、不安な気持ちで一杯でした。

そんな私たちが変わったきっかけは、愛媛県で自然栽培を行うパーソナルアシスタント青空の佐伯康人さんとの出会いです。また同年に、ヤマト福祉財団さんが佐伯さんをプロジェクト・リーダーに開催した「水稻自然栽培チャレンジ」に参加し、トラクターなどの購入・レンタル費用

も支援いただきながら、自然栽培に挑戦できたことが大きかったです。実践して驚いたのは「自然栽培は

だれにでもできる」ということでした。自然栽培は他の農法と違い「無農薬・無肥料・無除草剤」なので余計な手間もコストもかかりません。もちろん育苗、雑草を抜く、水やりなどの知識や作業は必要ですが、毎日手取り足取りで面倒を見なくても良い。肥料をたくさん与え過ぎた作物は、いわゆるメタボ状態ですが、自然栽培は作物が持つ自然本来の力を生かしているのです。根も力強く張り、健康的。そんな自然栽培の作物は、他とは違う高付加価値で、予想以上に高く売ることができました。

自然栽培が生む奇跡を 全国のより多くの施設に

もっと驚いたのは、利用者さんの変化です。下請け仕事ではいつも逃げ出そうとしていた方も、引きこもり気味で週1回しか通所していなかった方も、青空の下で毎日笑顔で農作

業するようになりました。そんな姿を最初は遠巻きに見ていた近所の農家さんから「うちの農地を使っていよ」と声がかかり、どんどん私たちの田畑は広がっています。周りに必要とされる喜びは、利用者さんをより生き生きと変え、職員の常識も変えました。かつて「仕事はガマンしてやるもの、各人に合う作業を探すのも大変」と悩んでいたのに、いまは真逆。農業には畑仕事以外にも袋詰めや販売などの多様な作業があり、みんな楽しく取り組んでいます。

そんな利用者さんを(一社)農福連携「自然栽培パーティ全国協議会」では「農福師」と呼びます。現在、パーティの参加施設や団体は、約100と全国に拡大しましたが、この奇跡と感動をもっと多くの施設に体験してほしい。「利用者さんと一緒に楽しんでみよう」と、気楽な気持ちでチャレンジしてみてください。お声がかかれば農福師と一緒に応援に行きますよ。



最初はたった一つだった田畑が、いまはこんなにも拡大!

東京会場編 シンポジウムより

「高付加価値の商品を開発するよりも、地域の課題を一緒に解決していくことこそ意義があります」と磯部さん。「いろんな方とつながっていくことで仕事や可能性を広げ、新しい価値を創造してください。それが農福連携の真のあり方です」と熊田さん。



農福連携という 高付加価値がもたらすもの



(一社)空 代表理事
(一社)日本農福連携協会
理事
第14回ヤマト福祉財団
小倉昌男賞受賞

熊田 芳江 氏

地域のさまざまな課題解決に 農家と福祉施設が手を結ぶ

私が理事を務める(一社)日本農福連携協会では「地域が抱える課題を解決していくために、農家と福祉施設の双方にメリットある展開を考えていきたいと思います」と呼びかけています。

日本の農家は、深刻な後継者不足に悩んでいます。それを利用者さんたちとどう補っていくか。農業には「百姓」と呼ぶくらいたくさんさんの仕事があり、さらに細かな作業に切り分けていきます。それを障がいや年齢、経験や技能に合わせて配置してあげば、利用者さんみんなが農業に従事できます。利用者さんは、自然とふれあいながら伸び伸びと健康的に、地域の方に喜ばれる働きがいのある仕事で給料を得ることができるのです。

一方、農家は福祉施設と一緒に仕事をすることで、人手不足を解消し、収益も向上。それは「障がい者の働く場を広げる」という農業とは違った社

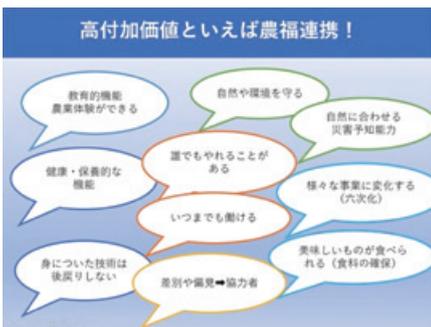
会貢献の喜びにもつながっています。

この流れが「農家の生産物を使い、福祉施設が加工品の製造・販売を行う」とそんな次の連携にも発展。さらに耕作放棄地を減少させ、新たな人の動き、交流も生まれているのです。

このように、地域全体へとメリットを広げることができるのも、農福連携の魅力だと考えています。

福祉施設の目的を忘れずに 農福連携の次のステップへ

以前私は、ヤマト福祉財団の夢へのかけ橋実践塾で、地元の農家や企業などとネットワークを構築し、新しい可能性を広げていく取り組みを塾生たちと実践してきました。その卒業生4名を含めた13名の新塾生たちに、昨年9月から「農福連携実践塾」を開講。農業の技術指導には、(NPO)ピアファームの林博文氏が講師として、商品開発や販路拡大ブランドینگには、(株)エススリーブランドینگの川田勝也氏がアドバイザーとして参加しています。



農福連携の目的は福祉だけでなく地域を元気にすること

コロナ禍で全員が集っての研修会は難しかったため、塾生のもとに講師たちと出向き、一つひとつ実践的に指導。まだ半年しか経っていませんが、それぞれに独自の工夫を凝らした農福連携を展開しながら、月額平均給料を約1万円近く伸ばしています。

ある塾生は、耕作放棄地を次々と引き取り、田畑をどんどん拡大。観光地にいる塾生は、コロナ禍で人が集まらなければ外に販路を広げるだけだと、大手百貨店やネット販売で成果を上げています。また肉まん一商品だけに力を注ぎ、塾生の中で一番の売上を出している者もいます。

これからの福祉施設には、認定農業者、GAP、HACCP、アニマルウェルフェアなど農業や六次化で必要とされる資格も求められるでしょう。しかし最も大切なのは「利用者さんのことを第一に考える福祉の目的」です。それを決して忘れることなく、それぞれに合った農福連携を実践してほしいと願っています。

実践報告1

地元特産品・にんにくを栽培・加工し売上アップ
(NPO)農楽郷(こ)カラダ
理事長
報告者：日野口敏章氏



最初はブルーベリーを栽培していましたが、売上が伸びず青森県の特産品・にんにくに着眼しました。十和田市に2haの農地を確保。ヤマトさんに助成いただいた耕作機械などを利用者さんと一緒に使いこなし、生産性は一気に向上しています。さらにチップやパウダー、黒にんにくなどの商品にも加工し、高付加価値で取引することによって昨年の平均月額給料は約3万3,000円に、今後も農地拡大と給料4万円超えを目標に、みんなで力を合わせて頑張ります。

実践報告2

牧場やカフェで自分に合う仕事を伸び伸びと
(NPO)EPO
EPO FARM 理事長
報告者：高橋智氏



障がいのある子どもを持つママ友が「私の子どもはやがてみんなと違う学校に通うでしょう。でも一緒に楽しめる場所があったら」と話すのを聞き、ホースセラピーの牧場を作りました。現在、地元の方の賛同を得て、その規模は約8万㎡に。ヤマトさんに助成いただいた羊事業の食材を使ったカフェも人気となり、1日100人以上の方がここを訪れています。利用者さんは馬の飼育やカフェでの接客など、それぞれに合った仕事で、毎日伸び伸びと働いています。

新型コロナウイルス感染症対応 臨時助成金 35施設に臨時助成を行いました

新型コロナウイルス感染拡大は、2年越しとなり社会的課題が現れてきました。ヤマト福祉財団では、事業や工賃、日常などを少しでも取り戻すために、障がい者の働く場にお役立ていただけるような、臨時助成金を7月に公募しました。

コロナ禍で事業収入が減った、業態変更が必要になったなど、利用者給料の回復を支援する事業のために、また、障がい者施設が医療従事者やシングルマザーを支援する社会貢献等々の事業のために臨時助成金として支援いたします。

9月13日に開催した選考委員会で、35施設への助成を決定しました。

助成した35施設のなかから3施設をご紹介します

法人製菓部門による医療従事者やシングルマザー等への社会貢献

荒川ひまわり（東京都荒川区）70万円

荒川ひまわりでは、内職、施設外作業、パウンドケーキの製造・販売を行いながら、社会協議会と連携して生活困窮者への食料品受け渡しのパントリー事業、また障がい当事者によるボランティアグループを作り、区内の子ども食堂でボランティア活動なども進めています。コロナ禍で相次ぐイベントの中止により販売機会を失い、社会貢献活動も通常通り行えない状況です。

そこで助成金を使い、ボランティアやイベントの参加のつながりを活かし、医療従事者・シングルマザー・生活困窮者等へクッキー・パウンドケーキをお届けします。ギフトBOXに、感謝や応援メッセージをいれて、パントリー事業、荒川区母子生活支援施設、東京足立病院、子ども食堂12カ所へ、10月から来年2月までの5か月間、毎月100セットをお届けする予定です。

地元貢献を目指した攻めの業態変更による移動スーパー売り上げ倍増計画

メロディーハウス（沖縄県名護市）390万円

完全無農薬野菜を生産する植物工場を運営しているメロディーハウス。観光立県沖縄のホテルや飲食店を顧客としていたため、度重なる緊急事態宣言で需要が蒸発してしまうという壁にぶつかりました。そこで、助成により軽トラの販売車を購入。移動スーパーで地域の団地・公民館を定期的に周り、自社生産の無農薬野菜に加え日用品を販売することで、高齢者の買い物難民の課題を解決します。

「買ってもらう」から「売りに行く」という業態変更を行い、行政とタイアップした高齢者の安否確認、将来的に地元スーパーとの協業も見据え、地域に根ざした住民サービスを目指します。

おむすび移動販売事業

むうが舎中原（東京都三鷹市）394万円

ダイレクトメールと製菓事業を中心に作業を行っていますが、コロナウイルス感染拡大の影響で受注が大幅に減少し、昨年度は年間500万円の減収となりました。利用者さんの生活に影響を与えないよう工賃の回復を目指し、新たな事業を立ち上げます。おむすび移動販売事業です。

助成で移動販売車を導入し、市役所などの公的な場所だけでなく、お年寄りが多く住む都営住宅や子どもの集まる公園など、市内のさまざまな場所で販売します。地域の子どもたちを対象として「朝のおむすび配布サービス」も行いたいと考えています。

地域を「おむすび」でつなぎ、事業の回復はもちろん、地域貢献や地域のつながりを目的とする新事業です。

助成金の目的

- (1) 業態変更や売上増のために必要な備品・機材の購入・改修により、新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業収入減、働く障がい者の給料減の回復を支援します。
- (2) 医療従事者やシングルマザー等を支援する目的で、障がい者施設が新たに実施する社会貢献事業を支援します。
- (3) 新型コロナ感染症対策のためのグッズ制作等を障がいのある人が行う事業を支援します。
- (4) その他ワクチン接種の推進など障がい者が活躍する新型コロナウイルス感染症対策に関連する社会貢献活動を支援します。

今から応募できる！
新型コロナウイルス感染症対応
臨時助成金
2021年度に実施する事業が対象となります

お弁当やお菓子もコロナウイルスと戦う人々にお届けして応援したい

応募期間
2021年7月1日(木)～
2021年7月31日(土)

計画通りに工賃が払えなかった

クラウドワークなど依頼も受ける必要がある

対象は障がい者の働く場です

公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局 〒100-0025 東京都中央区新富3-10-10

新型コロナウイルス感染症対応臨時助成金決定一覧

(助成件数および金額合計: 35件 7,088万円)



単位(万円)

所在地	福祉事業所名	事業企画	助成対象	助成額
北海道函館市	特定非営利活動法人地域活動支援センターおはよう共同作業所	自動販売機を使った非接触型農産物・手づくり製品販売計画	ロッカー型自動販売機と防犯のためのスーパーハウスの購入資金	200
北海道北斗市	特定非営利活動法人はあと	車両購入により宅配エリアの拡大	配達車両購入資金	150
北海道札幌市中央区	多機能型事業所Seed	賃金雇用拡大のための製造能力向上	加工品製造の備品・機材および改修工事の資金	325
北海道札幌市豊平区	就労継続支援B型事業所シフォン亭ほやほや	利用者もお客さんも、テレワーク環境提供しちゃうぞ事業	利用者および喫茶スペースのテレワーク対応化に必要な物品の購入資金	126
福島県福島市	まちなか夢工房	お取り寄せ販売業務整備事業	設備の購入とそれらに伴う工事費用およびデザイン費用の資金	370
茨城県桜川市	真壁産産学園	不死鳥のように甦る! コロナ禍でも高工賃を実現する294COFFEE事業の整備	真空包装機の導入およびWebマーケティング構築運用のための外部委託費用の資金	223
群馬県前橋市	ガーデンタイム	クッキーのブランド化による売上向上プロジェクト	クッキーのパッケージ・ギフト用資材・販売促進ツールのデザイン制作の資金	59
山梨県甲府市	就労支援事業所かしのみ	売上及び工賃回復計画	車輛購入資金	330
埼玉県三郷市	みどりの風	店舗での売り上げを伸ばし、利用者の工賃アップをめざす。	オープン型保冷庫の購入資金	57
千葉県千葉市緑区	就労継続支援はあもにい	「新商品クリーミーはちみつ」で「はちみつ収益3倍」計画	クリーミーはちみつ製造機一式の購入資金	90
東京都荒川区	荒川ひまわり	法人製菓部門による医療従事者やシングルマザー等への社会貢献	ギフト(菓子・メッセージカード)および配送費用	70
東京都渋谷区	福祉作業所おかし屋ぱれっと	地元で行う展示販売会&ワークショップ企画	会場費・広報費・イベント運営費の資金	110
東京都練馬区	ほっとすべす練馬	自主製品売上向上計画	パティシエへの商品開発と指導依頼およびプロ写真家への商品写真撮影と講座依頼の資金	52
東京都三鷹市	むうが舎中原	おむすび移動販売事業	おむすび移動販売のための販売用移動販売車等の購入資金	394
富山県富山市	おわらの里	非接触販売形態への事業転換	ホームページECサイトの制作資金	220
石川県白山市	多機能型事業所あじさい	屋外設備の充実による感染対策と売上増加計画	バザー用のテント、パラソル、イス、テーブル購入資金	112
長野県筑摩郡朝日村	森のこびと	朝日村サンタクロスプレゼントプロジェクト	生産量を上げるための設備購入費、子どもたちへのクリスマスプレゼント配布費の資金	326
長野県駒ヶ根市	たんぼぼの家	買い物支援と出張フードバンク	移動販売車の改修工事、冷蔵保管庫、精米機の資金	52
岐阜県高山市	クレヨン・ひだ作業所	「かずき」ブランド製品増加計画	布用プリンター購入資金	55
静岡県浜松市南区	ワークショップくるみ	小さな家事の軽減生活を応援します!	配付用の遠州綿紬ランチョンマット製造販売の資金	91
滋賀県守山市	びわこみみの里	業態変更による菓子の製造販売の倍増計画	設備の更新・製造強化の資金	72
京都府京都市左京区	ワークセンターHalle!	封入作業の売上増により利用者給与の回復・向上へ	重量検査機器の購入資金	368
京都府宇治市	ゆめハウス	B型作業の展開(除草・清掃作業拡大計画)	移動・搬送用リフター付車両の整備資金	300
京都府京都市伏見区	京都ふれあい工房	京都ふれあい工房の焼き菓子で、医療現場、保健所、福祉施設にエールを送る!	配付用焼き菓子の製造販売の資金	50
大阪府東大阪市	ハイワークひびき	生産力アップ計画	焼菓子製造の機器整備資金	160
大阪府河内長野市	ワークメイト聖徳園	栽培部と喫茶部の最強コラボでワークメイトも地域も活性化	玄関前テラス部分の販売スペース設置とイベント用物品の購入と宣伝広告費の資金	201
兵庫県神戸市中央区	気分転館	「密」を避けた作業環境作りと顧客回復による工賃倍増計画	店舗(事業所)の改修資金	335
兵庫県明石市	なかよし作業所	利用者の作業能力向上のための設備導入	コンペアーオープンの購入資金	200
和歌山県紀の川市	ソーシャルファームもぎたて	製造能力強化による米粉商品のバラエティー増産達成	食品加工場の増床するための資金	305
香川県東かがわ市	東香川障害者自立就労支援センター	作業車整備事業	作業車の購入資金	300
長崎県五島市	就労継続支援B型事業所ふれあい	非接触型複合店舗運営による工賃向上計画	店舗建築および関係備品購入資金	500
鹿児島県奄美市	ユーアイ工房	業態変更による農産物の生産量増大計画	農産物の栽培用ビニールハウスの増築、農機具の購入資金	121
沖縄県糸満市	障害者就労支援施設イノー	車両購入事業	就労支援サービスおよび送迎サービスの車輛購入資金	321
沖縄県宜野湾市	楽学喜サポートACCENDO	安心・安全に日常生活を過ごすためのクリーン対策事業	還元水元生成器の設置、高圧洗浄機やクリーナー等の購入資金	53
沖縄県名護市	メロディーハウス	地元貢献を目指した攻めの業態変更による移動スーパー売り上げ倍増計画	軽トラ・スーパー移動販売車の購入資金	390

2021年度 ヤマト福祉財団助成金

全国で助成金の贈呈式を行いました

北海道支部



東北支部



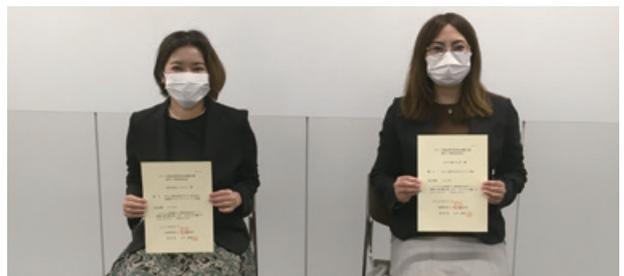
東京支部



南関東支部



北関東支部



北信越支部



中部支部



中国支部



四国支部

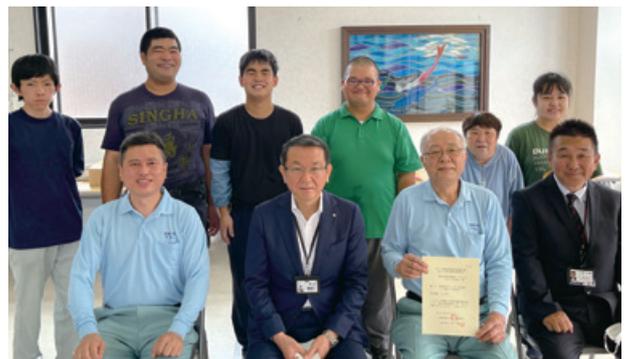
2021年度 ヤマト福祉財団 助成金 贈呈式



関西支部



九州支部



利用者支援と仕事づくりを農業で実践 —— 塾長たちと現地視察を行いました



(社福) ゆずりは 菜の花

収穫した枝豆の選別を、菜の花の利用者さんに指導を受ける塾生



真夏の炎天下で枝豆の収穫作業



熊田塾長(左手前)も利用者さんと一緒に、選別された枝豆を袋詰め



収穫した枝豆を鞘だけに刈り取る脱鞘機

農福連携実践塾の見学勉強会 in 上信越・北陸を7月20〜22日で実施しました。
今回は、群馬県前橋市の「菜の花」、長野県の小布施町、長野市にある「くりのみ園」、富山県八尾町の「おわらの里」と、それぞれの塾生が参加し約250キロを移動しての見学勉強会となりました。

GAPに挑戦し さらなる収益アップを (社福) ゆずりは 菜の花

群馬県榛名山の山麓に広がる地域で「高工賃と就労支援」を法人の理念に掲げ、県下で工賃実績上位を占める(社福)ゆずりは。塾生事業所の菜の花は、約9haに玉ネギ、枝豆、ブロッコリー、ほうれん草、キャベツ、米等々を作付けています。玉ネギは地域の67%シェアを占めるほど。慣行栽培と自然栽培の両輪で約2,000万円の売上をあげています。

菜の花では、工賃を上げるために、「①生産量を増やす、②そのために作付面積を広げる、③広がった作付面積で作業の効率化を図るために機械化を」と、進めてきました。
設立当初(2015年)の作付面積は4ha。5年後の2020年には12・2haと約3倍へ。平均工賃も約27,000円から約45,700円になりました。
重度の利用者さんもグループホームで生活し、活躍しています。菜の花

農業と福祉をつなぐ事業として 平飼い養鶏を (社福) くりのみ園

まだ「自然栽培」ということばも浸透していない頃、農業と福祉をつなぐ事業として、24年前に有機農業にシフトして平飼い養鶏をはじめた

(社福)フォーレスト八尾会 おわらの里



集落がなくなった山間部に5haの桑畑



桑の葉を収穫する利用者さん



収穫した桑の葉を乾燥させ、お茶やお菓子など加工品へ



「桑」をキーワードに六次化を進める



(社福)くりのみ園



農業、除草剤を使わないくりのみ園の田んぼ



伝統野菜の小布施丸なす



平飼いおふせのたまご(なちゆるるショップくりのみ)



自家配合飼料で平飼い飼育

のがくりのみ園です。有機農業は農業全体の1%しかなく、お手本も何もない時代でした。「販路も分からない、有機農業をどうやれば地域に定着できるか、試行錯誤の24年間だった」と、くりのみ園の島津理事長が話してくださいました。

現在では小布施農場と、長野農場に平飼いで3,000羽の鶏を飼っています。できあいの飼料を使わず自家配合で育った鶏の卵は、「おふせのたまご」として地域のブランドに育ちました。

化学肥料は一切使わず、鶏糞を使った自然循環農法に徹して、無農薬の米・野菜づくりを行っています。地産地消を目指し、玉ねぎ、伝統野菜の小布施丸なす、越冬させた雪下ニンジンなど、3〜4種類にしぼり栽培した野菜を、地域の給食センターに販売しています。

「くりのみ園はゼロから作り上げてきた伝統的な農福連携。長年の思いやゼロから作り上げたということがとても勉強になった。こういう事業所を参入してきた農福連携の人たちに見せてあげたい」と、熊田塾長。塾生から「有機農業の除草の大変さが分かる。機械ではどうにもならないこともあるので、情報交換をしていきたい」との声もありました。

福祉施設が地域を盛り上げ、地域の伝統を守る

(社福)フォーレスト八尾会 おわらの里

越中おわらの風の盆で有名な富山

市八尾町。当初は観光みやげ品制作などの作業からはじめて町と共に歩んできたおわらの里は、集落もなくなってしまった山間部に5haの農園で桑を育て、加工品を作っています。「施設事業の1/10ではないが、桑事業を進めるには、意味がある。昔、養蚕で栄えた歴史があり、桑事業で町おこし、桑畑を守ることが伝統を伝える価値になるのではないかと考えた。そのために地域の企業とつながり、商品を提案していく」と、塾生の杉山さんが話します。

桑の葉を使った商品を県の特産品として登録し、地域の参加者を募りファーマーズマーケットを実施。桑畑体験ツアーの企画、7年前に取引が停止になった大手企業とのコラボ商品である「おわら桑摘み茶」の再販も決定しました。

単に農福連携事業というのではなく、福祉施設が地域を盛り上げ、地域の伝統を守る事業に取り組んでいます。

「あえて農福にこだわる必要はなく、中山間地域の助成金を単独で申請して事業を作っていくことが大事。このような地域は全国にあるのでモデルとして発信を」と林さん。川田アドバイザーから「工賃向上も大事、山間部の桑畑を守るのも大事。短い時間で、桑の事業が八尾町の事業に変わってきたと実感している。地域のブランドを福祉が救うような好事例だと思う」とコメントをいただきました。

YWF TOPICS

2021年度ヤマト福祉財団奨学生が決定しました

ヤマト福祉財団では、社会に貢献することを目指し、日々勉学に励んでいる障がいのある大学生に月5万円（返済不要）の奨学金を差し上げています。今年は41名の応募者の中から選考委員会で新たに12名の奨学生が決定。キャンパスにお邪魔して贈呈式を行いました。



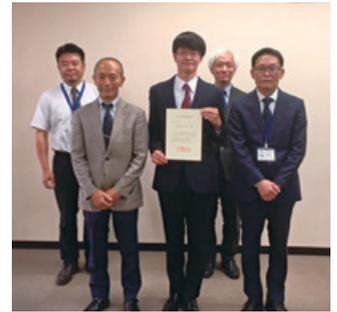
持田 温紀さん 中央大学
法学部政治学科 2年



川端 彩加さん 早稲田大学
商学部 4年



栗田 鈴華さん 群馬大学
共同教育学部特別支援学科 1年



船山 滉介さん 筑波技術大学
産業技術学部産業情報学科 1年

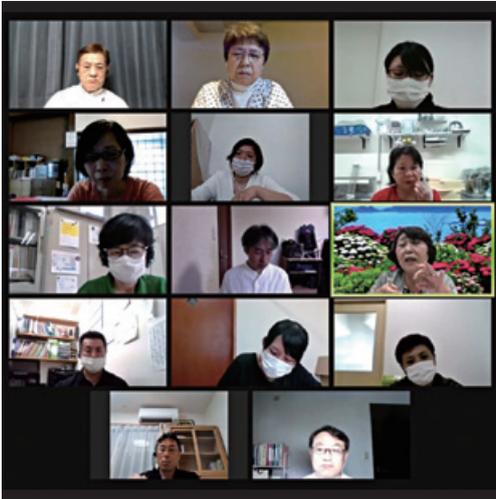


渡辺 陽さん 筑波大学
人間学群障害科学類 2年



立石 有梨佳さん 長崎国際大学
薬学部薬学科 1年

第4回楠元塾オンライン研修会 プロカメラマンが撮影テクニックをレクチャー



料理写真3つのポイント

- 1.ライティング（逆光、柔らかな光、正しい色）
- 2.構図（俯瞰、45度、0度）
- 3.スタイリング（見た目）

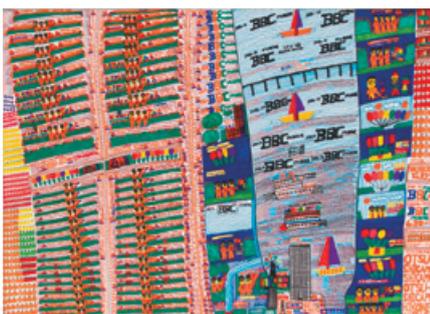
2.構図

- ・0度（俯瞰）
まっすぐに正確にフレーミング、
振れがなければ床に置いて撮った方が楽。
- ・45度～30度くらい
いつもの目線。料理がよく見える角度で
- ・0度
監視カメラを0度で撮ることはない。
写真ならではの力がある

7月9日、第4回楠元塾オンライン研修会を開催。今回は、「お弁当写真の写し方テクニック」と題し、プロカメラマンによるレクチャーを行いました。記録のための写真、チラシなどで使えるようなイメージ写真の撮影との違い、道具や撮影の仕方などの講義のあと、塾生が撮影した写真を見ながら、事業所ごとにアドバイスを行いました。

また、コロナ禍、アフターコロナの状況での営業展開について、楠元塾長は「今後、アフターコロナになっても、以前のように戻らない。ほとんどがテイクアウトになっているので、さまざまなターゲットに幅広く出せるようなお弁当を提案できるようにする。1回断ったら次は難しいので、スポット注文でも対応できるように、時間のあるとき、材料が安いときにおかずを真空パック保存しておく工夫も必要」と日頃の時間やコストを節約するための工夫や準備の必要性を話しました。

京都とっておきの芸術祭 12月2日～5日



絵画の部 京都府知事賞 「びわ湖」AKIO



京都府では、障がいのある方がそれぞれの個性や才能を発揮する場として、1995年度から「京都とっておきの芸術祭」を開催しています。今年度は、12月2日（木曜日）～12月5日（日曜日）に日図デザイン博物館（みやこめっせ地下1階）で開催します。

昨年度は、コロナ禍の中、絵画等の7部門に600点を超える作品が展示されました。絵画の部知事賞は「びわ湖」（作家名：AKIO）、諸工芸の部は「あまびえちゃん」（作家名：西陣工房縫製班）など個性溢れる作品やコロナの収束を願う作品を展示しました。

随時、本芸術祭WEBサイト（<https://totteoki-geijutsu.com/>）にて開催情報等を掲載しています。ぜひチェックしてください。

※この芸術祭はヤマトマルチチャーター株式会社協賛しています。

YWF TOPICS

夏のカンパからヤマト福祉財団の活動へ73,523,000円のご寄付をいただきました。
組合員のみなさんのご支援に感謝いたします。



ヤマト運輸労働組合、ヤマトグループ企業労働組合連合会の大会の中で行われている夏のカンパ贈呈式ですが、今年も大会が書面開催となり、ヤマトHDの応接室でヤマト労連の森下会長からご寄付の目録をお受けし、山内理事長から感謝状を贈呈しました。

「今年は、コロナ禍でカンパの額が少なくなるかと心配していましたが、昨年を約80万円も上回るカンパ金が集まりました。やはり、素晴らしい組合員だと私からも感謝したい」とヤマト労連の森下会長。

山内理事長は「ありがたいです。財団の設立は初代理事長である小倉昌男さんの寄付を基本財産として、組合員のみなさんからの寄付（カンパ）で成り立っています。そこが、会社から支援を受けて活動している他の財団と違うところで、小倉昌男さんの思いが組合員お一人お一人に受け継がれていると思います。これをつないでいきたい。

コロナ禍で障がい者施設も大変な状況です。感染拡大を受けて仕事がなくなり、工賃を払うために新しい仕事にも挑戦しています。財団では9月に「新型コロナウイルス感染症対応 臨時助成金」として、コロナ禍で頑張っている障



がい者施設に対し、臨時助成を行いました。この臨時助成もみなさんからの寄付があればこそその支援です。みなさんのやさしい気持ちを障がいのある方への支援に大切にに使わせていただきます」と、組合員のみなさんへ御礼のメッセージを伝えました。

世界マーマレード大会で最優秀賞 八幡浜市障害者施設いきいきプチファーム (愛媛県八幡浜市)



みかんの大産地、愛媛県八幡浜市で7月に開催された「2021年度ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」。この大会で試作を重ねたいいきいきプチファームのマーマレードが、アマチュア部門1,077品の中から1品に贈られる最優秀賞を受賞しました。最優秀賞作は大会スポンサーである老舗スポンサーが商品化する予定。原材料のブラッドオレンジは収穫期が過ぎているため、本格的な製造は来年度になる見込みです。

財団では製造に必要なガラス瓶用殺菌庫を助成、支援しています。

「特定非営利活動法人医療的ケア児者と 家族を社会につなぐネットワーク」設立

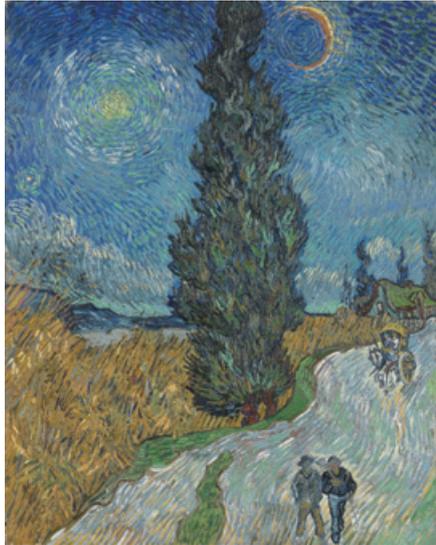
「医療的ケアが必要でも住み慣れた地域で安心して暮らせる社会をつくること」を基本理念として、2021年7月に「特定非営利活動法人医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク（英語名：Bridge Network）」が設立されました。

支援を受ける人、支援する人、関係するすべての全国ネットワークの基盤をつくり、ネットワークを通じたさまざまなニーズの集約を進め、医療・福祉・保育・教育・労働等の支援者と連携していきます。医療だけでも福祉だけでもない、支援に必要な社会的な仕組みや事業を立ち上げて、医的ケア児者・その家族へ持続的な支援体制を創っていきます。

ヤマト福祉財団は、「働く」をキーワードに活動してきました。重度の障がい者のご家族は、24時間続く自宅でのケアのため、「働きたい」という希望が叶えられていません。多くの母親が「働きたい」「自分の時間が持たたい」を断念し、社会からの孤立を深めています。きょうだい児への支援、母親の再就労、親無きあとの支援等、本人とその家族の暮らしを支える課題は山積しています。

ヤマト福祉財団は、ご家族の支援、山積する課題を解決するために小倉昌男賞受賞者である宮崎県のキャンパスの会理事長・楠元洋子氏を中心に立ち上げたこの活動を支援しています。

ゴッホ展 響きあう魂ヘレーネとフィンセント



フィンセント・ファン・ゴッホ《夜のプロヴァンスの田舎道》
1890年5月12-15日頃 油彩、カンヴァス クレラー＝ミュラー美術館
© Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands



フィンセント・ファン・ゴッホ《レストランの内部》1887年夏
油彩、カンヴァス クレラー＝ミュラー美術館
© Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands



フィンセント・ファン・ゴッホ《黄色い家(通り)》1888年9月
油彩、カンヴァス ファン・ゴッホ美術館(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)
© Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)



フィンセント・ファン・ゴッホ《サン＝レミの療養院の庭》1889年5月
油彩、カンヴァス クレラー＝ミュラー美術館
© Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands

■ 収集家ヘレーネ・クレラー＝ミュラー

ヘレーネ・クレラー＝ミュラー(1869-1939)は、20世紀初頭にファン・ゴッホ(1853-1890)に魅了された、世界最大の個人収集家です。ヘレーネは、ファン・ゴッホがまだ評価の途上であった1908年からおよそ20年間で、鉄鋼業と海運業で財をなした夫アントンと共に90点を超える油彩画と約180点の素描・版画を収集しました。

ファン・ゴッホの芸術に深い精神性を見出したヘレーネは、この感動を多くの人々と分かち合うべく尽力し、生涯にわたり美術館の設立に情熱を注ぎました。1938年に開館した世界第2位のファン・ゴッホ・コレクションを誇るクレラー＝ミュラー美術館は、近現代美術を中心におよそ20,000点を収蔵。ヨーロッパ最大級の彫刻庭園でも知られています。

■ ファン・ゴッホの初期から晩年までの画業をたどる

本展では、ヘレーネが初代館長を務めたクレラー＝ミュラー美術館のコレクションから、ファン・ゴッホの絵画28点と素描・版画20点を展示します。画家を志した頃から繰り返し描いた素描の数々、新印象派の影響を色濃く見せるパリ時代の《レストランの内部》、黄と青の対比がまばゆいアルル時代の《種まく人》、糸杉を描いたサン＝レミ時代の傑作《夜のプロヴァンスの田舎道》など、その初期から晩年までをたどります。また、ヘレーネの収集によるミレー、ルノワール、スーラ、ルドン、モンドリアンらの油彩画20点もあわせて展示し、ヘレーネの類稀なるコレクションを紹介します。

さらに、ファン・ゴッホ美術館から《黄色い家(通り)》を含む4点を展示し、画家の没後オランダ国内外で展示された作品を紹介しながら、20世紀初頭からファン・ゴッホの人気と評価が飛躍的に高まっていく背景にも注目します。

本展はヤマト運輸株式会社が作品の輸送・展示をしています。

DATA

開催期間 ▶ 2021年9月18日(土)～12月12日(日)
休 館 日 ▶ 月曜日
※ただし11月8日(月)、11月22日(月)、
11月29日(月)は閉室
開催場所 ▶ 東京都美術館 企画展示室
アクセス ▶ JR上野駅「公園口」より徒歩7分
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口より徒歩10分
京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
開館時間 ▶ 9:30～17:30(入室は閉室の30分前まで)

観 覧 料 ▶ (税込)

一般	大中学生	高校生以下	65歳以上
当日 2,000円	1,300円	無料	1,200円

※本展は日時指定予約制(オンライン・プレイガイドでの予約が難しいために当日の入場枠を設けておりますが、ご来場時に予定枚数が終了している場合があります)
※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料(日時指定予約は不要)

主 催 ▶ 公益財団法人東京都歴史文化財団東京都美術館、東京新聞、TBS

後 援 ▶ オランダ王国大使館
協 賛 ▶ NISSHA
協 力 ▶ KLMオランダ航空会社、ヤマト運輸
特別協賛 ▶ サイバーエージェント
問い合わせ先 ▶ 050-5541-8600(ハローダイヤル)
特設WEBサイト ▶ <https://gogh-2021.jp>
巡回情報 ▶ 福岡市美術館



2021年12月23日(木)～2022年2月13日(日)
名古屋美術館
2022年2月23日(水)～4月10日(日)
※展示作品、会期等については、諸事情により変更する場合がありますので、本展特設WEBサイト等でご確認ください。

今年もクリスマスはスワンのケーキで!!

よろこぶ顔が見たいから
スワンのケーキで

お申し込み 10月20日(水)～11月25日(木)
お届け日 12月20日(月)～12月24日(金)

●障がい者施設からご予約いただけます。

お問い合わせは(株)スワン 担当:石引・藤野まで
☎ 0120-230-787

スワンベーカーリー 検索



いちご抹茶の
芳醇な出会い



XA ハッピー ロゼヴェール

莓がやさしくチョコに包まれました
1大アレゲル不使用



XF ハッピー SWAN ストロベリー

色鮮やかで、
パーティーの主役に!



XC ハッピー ア・ラ・カルト

ほんのりピターな
大人の味わい



XB ハッピー ショコラ・プリエ

ふわわり軽いクリームに
フルーツがマッチ



XG ハッピー ガトー・フリュイ

3通りの菓の味わいが
楽しめる



XE ハッピー モンブラン

ヨーロッパの伝統的な
クリスマス菓子



XH ハッピー シュトレン

クリーミーなチーズが
たっぷり!



XD ハッピー ガトー・フロマージュ